

対応状況報告書

大 学 名： 鳥取大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和4年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○工学研究科博士後期課程（機械宇宙工学専攻、社会基盤工学専攻）において、実入学者数が入学定員を大幅に下回っている。
対応状況	・工学研究科（博士後期課程）：0.77倍（2018～2022年度）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に対して、令和4年4月に博士後期課程を改組（専攻を4専攻から1専攻に、入学定員を21名から12名に変更）したことに伴い、入学定員充足率は令和4年4月が100%となり改善している。また、5年平均の入学定員充足率は77%であるが、入学定員は過去の入学者の実績に基づいて12名に決定しており、今後入学定員充足率はさらに改善することが見込まれる。 【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2 （2022年5月1日現在） 5-3-1-13_(06)工学研究科委員会会議記録（非公表）

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。

対応状況報告書

大 学 名： 鳥取大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和4年度

対象となる基準	基準5－3
改善を要する点	○連合農学研究科博士後期課程（国際乾燥地科学専攻）において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	・ 令和4年5月1日現在における入学定員充足率（平成30～令和4年度）は以下のとおりとなっており、改善傾向にある。 連合農学研究科博士後期課程：1.25 倍 うち、国際乾燥地科学専攻：1.90 倍 今後も引き続き厳正な入試の実施に取り組むとともに、各専攻の入学定員見直しを含めた改組の検討を開始する等、入学者数の適正化に向けた取組を行う予定である。 【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ様式【大学用】様式2 (2022年5月1日現在)

(注)

1. 機構で受けた大学機関別認証評価において、「改善を要する点」として指摘された事項の対応状況について記入してください。
2. 「改善を要する点」には、評価結果報告書の「Ⅱ 基準ごとの評価」の【改善を要する点】に記載された内容をそのまま転記してください。
3. 「対応状況」には、「改善を要する点」として指摘された事項に関して改善された状況の具体的な内容及びその改善を実現した取組について、根拠資料・データ等とともに「対応状況」欄に記入してください。
4. 根拠資料・データ等は、その名称を記載のうえ、別添として添付してください。評価結果の追記公表の際に併せて公表しますので、資料番号については、既存資料と重複しないよう、既存資料の資料番号以降の連番としてください。
5. 評価を受けた年度の翌年度を一年度目として起算した場合の三年度目の6月30日までに改善していると判断していない事項については、対応状況欄にその旨のみを記載してください。